公立病院経営強化プランの達成状況

団体名	和水町
プランの名称	国民健康保険和水町立病院経営強化プラン
策定日	令和 5 年 9 月 26 日
対象期間	2023年度（令和5年度） ～ 2027年度（令和9年度）

病院の現状								
病院名	国民健康保険和水町立病院			経営形態	公営企業法全部適用			
所在地	熊本県玉名郡和水町江田4040番地							
令和5年度当初の許可病床数（令和5年4月1日現在）	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	合計	
		49	42	0	0	0	91	
	病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	合計	
		0	0	49	42	0	91	
令和5年度中の許可病床数変更状況	病床種別	一般	療養	精神	結核	感染症	合計	
		49	42	0	0	0	91	
	病床機能	高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休床	合計	
		0	0	49	42	0	91	

1 機能の最適化と連携の強化	
（1）地域医療構想等にを踏まえた病院の果たすべき役割とそれに向けた取組状況	地域医療構想を踏まえ、当院の役割は、高度な急性期医療ではなく地域を支える医療として、軽症及び中等症の救急搬送患者の受入れ、急性期治療を終えた患者の受入れなど、近隣の医療機関との役割分担を図るとともに、広域的な医療資源を活用し、在宅復帰のための支援を行うための役割を担っております。 また、有明圏域の医療提供体制では、急性期病床・慢性期病床が余剰となっているのに対し、高度急性期病床と回復期病床は不足している状況です。町立病院はその内、回復期病床49床と慢性期病床42床を有しております。 回復期病床では地域包括ケア病床を活用し、リハビリや在宅復帰の支援だけでなく、在宅患者の急な体調の悪化時や軽度の急性期疾患の直接受け入れ、レスパイト入院など積極的に行っていきます。また、その機能を充分発揮できる様、医療施設・介護施設とのますます密な連携を推進することとしております。慢性期機能では町立病院の入院患者90％以上が高齢者であり、70％以上が町内の患者です。高齢化率40パーセントを越える和水町では、住民のニーズに対応するため、慢性期病床を維持してまいります。 許可病床の削減を行う場合には、地域の実情を踏まえ慎重に検討を進めていきます。
（2）地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき役割とそれに向けた取組状況	経営強化プランでは地域包括ケアシステムの構築に向けて果たすべき８つの役割を掲げています。今後も役割に沿って、住民の健康と福祉の増進を図っていきます。
（3）機能分化・連携強化とそれに向けた取組状況	当院は可能な限り町内で治療できるものについては地域で完結したいと考えていますが、地域医療を守るためには連携及び機能分担が必要不可欠です。 令和５年度は近隣のくまもと県北病院から呼吸器内科と訪問診療医の派遣を行っていただき連携を強化しました。

（4）医療機能や医療の質、連携強化等に係る数値目標

①医療機能に係るもの		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
リハビリ延件数	件		10,000	11,000	12,000	13,000	13,000
実績	件	9,785	13,875				
達成率	%		138.8				
訪問診療件数	件		350	400	425	450	470
実績	件	286	447				
達成率	%		127.7				
訪問看護件数	件		2,800	2,800	2,800	2,800	2,800
実績	件	2,777	2,205				
達成率	%		78.8				

②医療の質に係るもの		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
救急車応需率	%		90.0	90.0	90.0	90.0	90.0
実績	%	67.0	81.0				
達成率	%		90.0				
病床利用率	%		74.6	60.0	75.0	80.0	85.0
実績	%	48.8	53.9				
達成率	%		72.3				
リハビリ単位	単位		19,578	15,746	19,683	20,995	26,244
実績	単位	11,709	21,605				
達成率	単位		110.4				
リハビリ実施率	%		40.0	60.0	50.0	50.0	50.0
実績	%	60.0	77.3				
達成率	%		193.3				

③連携強化等に係るもの		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
紹介率	%	-	20.0	20.0	20.0	20.0	20.0
実績	%	-	9.0				
達成率	%		45.0				
医療相談・連携対応件数	件		12,000	12,000	13,000	13,000	13,000
実績	件	11,602	14,275				
達成率	%		119.0				
他病院等からの派遣医師数	人		12	12	13	14	15
実績	人	11	11				
達成率	%		91.7				
くまもとメディカルネットワーク	件	-	500	900	1200	1400	1500
実績	件	-	250				
達成率	%		50.0				
くまもとメディカルネットワーク	件	-	100	200	300	400	480
実績	件	-	42				
達成率	%		42.0				
④その他必要な数値目標		R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
看護実習生受入人数	人		50	60	60	60	60
実績	人	53	63				
達成率	%		126.0				
臨床研修医受入人数	人		5	6	6	6	6
実績	人	2	5				
達成率	%		100				
健康管理センター受診者数	人		3100	3100	3100	3100	3100
実績	人	3098	2858				
達成率	%		92.2				
居宅介護支援事業所年間利用者数	人		1450	1500	1500	1500	1500
実績	人	1428	1283				
達成率	%		88.5				

	(5) 一般会計負担の考え方	一般会計から病院事業への経費負担については。総務省の繰り出し基準に従い地域において果たすべき役割、診療科目、病床数等を維持するために、最大限効率的な運営を行ってもなお不足するやむを得ない部分の経費を繰入対象としています。 【令和5年度の繰入額】 〇病院の建設改良に要する経費・・・・・・・・・・・ 47,051千円(前年比 4,372千円) 〇不採算地区病院の運営に要する経費・・・・・・・107,028千円(前年比 1,138千円) 〇救急医療の確保に要する経費・・・・・・・・・・・ 80,217千円(前年比▲ 7,520千円) 〇経営基盤強化対策に要する経費・・・・・・・・・・ 424千円(前年比 164千円) 〇地方公営企業職員に係る児童手当に要する経費・・・ 6,725千円(前年比 811千円) 合計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 241,445千円(前年比▲1,035千円)
	(6) 住民の理解のための取り組み	病院の取り組みについてはホームページや防災無線等を活用し発信しています。また、パブリックコメント等の方法で住民の意見を聞き取り、住民との信頼関係構築に務めています。 【令和5年度の取組】 〇診療に関するお知らせ更新・・・9件 〇各種計画策定、更新に関するお知らせ・・・3件 〇入札に関するお知らせ・・・3件 〇職員募集に関すること・・・10件 〇パブリックコメント・・・1件
2 医師・看護師等の確保と働き方改革	(1) 医師、看護師等の確保等の確保への取組状況	医師確保対策としては、大学病院や近隣病院に医師の派遣協力を依頼し、宿日直業務の負担の削減を行っています。また、令和5年度は受入れ環境の整備として、若い医師が働きやすい環境づくりの一環として診療用Wi-Fiの設置を行いました。また、ホームページでの募集や紹介機関に新たに登録し、医師確保に向けて対策を実施しました。
	(2) 臨床研修医の受け入れ等を通じた若手医師の確保への取組状況	熊本赤十字病院や熊本大学病院からの卒後研修プログラム並びに協力型臨床研修医療機関として、臨床研修医の受入れを行っています。令和5年度は5名の受け入れを行い地域医療について研修を積まれ、過疎地域の現場の医療の在りかたについて学ばれました。
	(3) 医師の働き方への対応への取組状況	令和6年4月より「働き方関連法」により医師にも時間外労働の上限が原則「960時間」と定められ、連続した勤務などの過重労働の是正が求められています。 令和5年度は、長時間労働などで心身ともに疲弊しやすい医療従事者へ、心を守る体制作りの一環として、ハラスメントの研修を行いました。また、ペイシェントハラスメント対応マニュアルを策定し、職場環境や診療環境の悪化を防ぎ、働きやすい職場づくり体制を構築しました。

3 経営形態の見直し	（1）経営形態の見直し	平成２５年度に地方公営企業法（全部適用）に移行しており、開設者は町長であり、運営責任者は事業管理者です。経営形態の見直しについては、収支状況にとらわれがちとなりますが、基本となるのは地域住民の医療提供のために必要な組織体であることや責任を持った経営ができる等を念頭に、どの経営形態が和水町に取って１番適しているかについて考える必要があります。現状では黒字となっているため、現在の形態で更なる経営の効率化に取り組んでいきます。
4 新興感染症の感染拡大時に備えた平時からの取組	（1）感染拡大時に備えた平時からの取組	当院は、感染症拡大時に備えた平時からの新興感染症対策として、次のとおり、取組みます。 ①感染症の病床に転用しやすいようなゾーニング、外からの出入りや検査機器への導線の確保、感染防護具等の備蓄を行い、また、定期的に感染マニュアルの点検・検証・見直しを行う。 ②感染委員会を中心に医療従事者の感染防止に対する意識向上を図る研修を定期的に実施する。 令和5年度は、病棟の感染対策に向けて改修を含めたゾーニングの検討を行いました。
5 施設・整備の最適化	（1）施設・整備の適正管理と整備費の抑制への取組	建物について、病棟が昭和６０年、外来棟が平成１１年に改築しており、内壁、外壁ともに老朽化が進んでいる箇所があることから、優先順位をつけ計画的に修繕を行います。 設備機器については、医療機器はメンテナンスを行いながら、使用することを基本とし、更新については、耐用年数を部署ごとに管理します。計画的に更新することで、費用の平準化により適正な管理に努めます。
	（2）デジタル化への対応	当院はデータとデジタル技術を活用し、「医療の質の向上」や「医療情報の連携」、「デジタル技術を活用した業務の効率化」、「医療サービスの効率化」等を推進します。 令和5年度は電子カルテシステムを導入しました。今後は電子カルテを中心に院内のICT化を検討していきます。
	（3）情報通信システムの活用	院内の情報共通端末をＰＨＳからスマートフォンに切り替え、機能性の向上、医療連携の効率化、医療の質の向上を目指します。

6 経営の効率化

（1）経営指標に関する数値目標

①収支改善に係るもの		R５年度	R６年度	R７年度	R８年度	R９年度
経常収支比率	%	100.6	84.6	97.2	99.8	103.0
実績	%	105.3				
達成率	%	104.7				
医業収支比率	%	89.0	73.3	83.6	87.0	90.6
実績	%	81.2				
達成率	%	91.2				
修正医業収支比率	%	81.0	66.0	76.0	79.0	83.0
実績	%	72.8				
達成率	%	89.9				

②収支改善に係るもの		R５年度	R６年度	R７年度	R８年度	R９年度
1日当たりの入院患者数	人	68.0	54.5	68.1	72.6	77.1
実績	人	49.0				
達成率	%	72.0				
1日当たりの外来患者数	人	99.1	98.8	96.7	94.7	92.6
実績	人	97.3				
達成率	%	98.2				
入院患者数1人1日当たりの診療収入	円	22,500	23,400	23,850	24,300	24,750
実績	円	25,044				
達成率	%	111.3				
外来患者数1人１日当たりの診療収入	円	7,500	6,500	6,890	7,020	7,150
実績	円	6,866				
達成率	%	91.5				
病床使用率	%	74.6	60.0	75.0	80.0	85.0
実績	%	53.9				
達成率	%	72.3				

③経費削減に係るもの		R５年度	R６年度	R７年度	R８年度	R９年度
職員給与比率	%	73.3	89.3	76.4	73.6	70.9
実績	%	76.2				
達成率	%	96.2				
材料費比率	%	9.9	11.5	10.1	9.7	9.3
実績	%	10.2				
達成率	%	97.1				

④経営の安定性に係るもの		R５年度	R６年度	R７年度	R８年度	R９年度
常勤医師数	人	4	4	5	5	5
実績	人	4				
達成率	%	100				
看護師数（看護助手除く）	人	49	49	51	51	51
実績	人	50				
達成率	%	102.0				
医療相談・連携対応数	件	12,000	12,000	13,000	13,000	13,000
実績	件	14,275				
達成率	%	119.0				
企業債残高	円	331,975	370,266	320,420	259,269	192,535
実績	円	330,074				
達成率	%	100.6				

（２）目標達成に向けた具体的な取組

①収入確保に係るもの	・新しい専門職として作業療法士と言語聴覚士を採用し、リハビリにおける取得単位が増加しました。引き続き、収益確保に向けて施設基準を見直しを行って行きたいと思います。 ・くまもと県北病院より訪問診療医を派遣してもらい訪問診療の件数が増加しました。
②経費削減に係るもの	・一部の先発医薬品を返品し、後発医薬品に変更することで経費の削減を行いました。 ・検査の試薬について機器購入と同時に、これまで使用していた試薬の見直しを実施しました。 ・補助食品の適正利用するため、栄養科で管理、指導を病棟へ実施しました。
③経営の安定性に係るもの	・常勤医師をホームページでの募集、初めて医師紹介機関に登録、大学や近隣病院へ医師の派遣をお願いし、医師確保に向けて対策をしました。
④その他	・病院までの交通手段の確保事業として町内を巡回するケアバスを運行していますが、運転手不足になったこともありましたが、1年間無事に事業を継続し住民への医療の提供することができました。